



第95号

〒441-3421 愛知県田原市田原町汐見5 田原文化会館内
 TEL.<0531>22-2622 FAX.<0531>22-2625
 Email: info@tahara-tia.jp

国際理解講座「日本語スピーチコンテスト」

於 田原文化会館



出場された6名の皆さんと岡本理事長



上記の大会で、審査の結果上位2名の方が、東三河日本語スピーチコンテストに出場しました。

東三河日本語スピーチコンテストで、優秀な成績を収められ晴々とした表情のおふたり。

最優秀賞 ^{シャー} ^{マン} 夏 漫さん（右）

特 別 賞 イラーデ ネスリー マカソさん（左）

国際理解講座

2017年11月12日（日）10：00～12：00

第一部は「日本語スピーチコンテスト」を行いました。田原市に在住の外国人6名（夏漫さん、イラーデ ネスリー マカソさん、徐玲さん、ブリアナ ミルズさん、熊小銀さん、アリエル スネガウスキーさん）が、日本語で自分の思いを発表してくれました。来日して短い期間にも関わらず、日本での生活や感じた事など、流暢な日本語で発表しました。審査の結果、「外国の生活から気づいたこと」と題して発表した夏漫さん（中国）と、「私はネスリー、誰からも愛される名前を持った私」と題して発表したネスリーさん（フィリピン）の2名が、1月28日、蒲郡市で行われた「東三河日本語スピーチコンテスト」へ出場し、夏漫さんが最優秀賞、ネスリーさんが特別賞を受賞する事ができました。本当におめでとうございます。

第二部は海外派遣の帰国報告会として、派遣団のメンバーの桑名重夫さん、中村紗弥香さん、古川佑三子さん、藤原勝子さん、小原慶子さんの5名の方に発表していただきました。今回はアメリカのプリンスストン市、ジョージタウン市に派遣されました。現地では、事前に練習を重ねた合唱を披露したり、ホームステイなど市民交流を行って来ました。海外派遣ならではのいろいろな体験や、感じた事をたくさんのスライドを使って、それぞれ発表していただきました。

クリスマス会

2017年12月2日（土）18：00～20：00

当協会恒例行事のクリスマス会が、田原中部市民館で開催されました。今年は会員やその家族、市内に住む外国人など148名が参加して、盛大なイベントとなりました。

最初に、市民海外派遣に参加した方たちの合唱が披露されました。アメリカのプリンスストン市やジョージタウン市で市民交流を図るために練習した歌声を日本でも是非とお願いし、クリスマスソングを歌っていただきました。料理は、例年同様、料理屋さんからの取り寄せに加え、参加者が用意した本場の中華料理やフィリピンの料理が並べられましたが、あまりのおいしさにあっという間になくなってしまいました。その後はフィリピンのダンスサークルのパフォーマンスやスポーツジムでダンスを習っている子供たちのダンス披露もあり、大いに盛り上がった一夜でした。



多文化研修会

2018.2.18 (日)

今年の研修会は「国宝犬山城と名古屋大須観音界隈散策」で、バス3台総勢99名の参加がありました。当日は、少し寒さが残るものの、快晴の天気にも恵まれました。

まず最初に訪れたのは、日本最古の城と言われている犬山城です。昨年の大雨で落雷を受け、破損した「しゃちほこ」はまだ修理中でしたが、木曾川のほとりにそびえる天守閣に登り、眼下に広がる城下町の眺めに感激しました。「しゃちほこ」が戻ったらまた行ってみたいと思いました。

少し遅い昼食の後、大須観音を参拝し、大須商店街を散策しました。私や参加者の多くは初めての大須です。日曜日とあって、境内はいろいろなものを扱う「骨董市」で人があふれていました。興味あるものに惹かれ、あっちにふらふら、こっちにふらふら、商店街に辿り着くまでに時間がかかってしまいました。

商店街は、たくさんの店が立ち並び、そこに人、人、人。通りから見ただけでも十分楽しくて、時間があっという間に過ぎてしまいました。

今までの研修会は「京都・奈良」、「富士山」など日本を代表するようなところが多かったけれど、県内にも見所はたくさんあると感じた研修会でした。参加者の皆さん、お疲れ様でした。



たはらの YOU

祖国を離れて日本にやって来た田原市に住む「YOU（外国人）」を紹介するコーナーです。（文章はインタビューにより作成したものです。）



熊 小蘭 さん
出身国 中国
来日年日 2015年7月
家族 父、母、姉、兄

こんにちは、私は、中国江西省から日本語を勉強するために来日しました。現在は、先輩の紹介で田原市豊島町の農家で、牛の世話をしながら日本語を勉強しています。

日本に来て、感心したことがあります、町の中にゴミが一つも見られないことです。それは定期的に朝多くの人が集まって、道路を掃除したり、ゴミを拾ったりしているからだと思います。

私は、余暇に、いつもテレビ番組を見て、日本語を勉強しています。好きな番組は、にほんご教室の先生の勧めで見始めたNHKの「ドキュメント72時間」です。

中国に帰ったら、勉強した日本語を活かすため、通訳の仕事をしたいと思っています。



陳 強 さん
出身国 中国
来日年日 2015年6月
家族 父、母、姉

私は2015年に日本に来ました。もうすぐ3年間の研修生活が終わります。この3年間で、仕事面ではつらいこともありました。しかし、楽しいこともたくさんありました。にほんご教室に通い、いろいろな国の人や先生たちと日本語を勉強しました。だから、日常生活はとても充実していました。もしにほんご教室での人との出会いがなかったら、日本での生活は虚しく終わったと思います。

私の名前は「強」と書きますが、これは私の両親が、健康で意志の強い人間になって欲しいと考え名づけたものです。だから何事にもがんばって生活してきました。

日本に来て、日本への関心が一層深まったので、中国に帰ったら、今度は日本への留学を目指したいと思っています。



伊藤 アイリン さん

出身国 フィリピン
来日年 日 1996年
家族 夫、長男、次男

日本に住み始めた頃は、あまり日本語がしゃべれなかったもので、自分の言いたいことをうまく伝えられず、イライラすることが多かったです。また、日本の食事にも慣れなくていろいろ大変でした。ホームシックになったこともありました。今は、同じフィリピン出身の友人ができたので、週末に食事に行ったり、おしゃべりしたりしてストレスを解消しています。私にとって友人たちは、悩みを打ち明けたりできる大切な仲間です。

平日は、午前9時から午後4時まで網を作る工場で働いています。この仕事をするようになって、もう10年になります。仕事では運動不足になりやすいので、健康のため毎日早朝に、40分くらい歩くようにしています。一年に1回、1週間くらい仕事を休んでフィリピンに帰ります。離れて暮らしていても、私にとって家族は大切な存在です。そのことを夫も理解してくれているので、働いてもらったお給料の一部はフィリピンの家族に仕送りしています。



志賀 アンジェリン さん

出身国 フィリピン
来日年 日 1999年
家族 夫、長男、長女

私には、子供が二人います。二人は11歳年が離れているので、長女はまだ8歳です。だから子育ても忙しく、夫と協力し合って、学校行事などに参加しています。

家では、フィリピンの友人を招いてホームパーティーを時々開きます。夫はお酒を飲みますが、私は飲めません。だから、夫は、友人たちと家で楽しくお酒が飲めるパーティーを開くことを歓迎してくれます。パーティーでは、友人たちのためにフィリピン料理を作るようにしています。

仕事は、ホテルで部屋の掃除やベットメイキングを担当し、7年間働いています。体を使う仕事なので、健康にもいいと思います。

結婚して子供が生まれてからは、子供のためにも一生日本で暮らすことを決意しました。最近では、スマートフォンで、毎日フィリピンの家族と話をすることができるので寂しくありません。たまにはフィリピンにも帰りますが、今では日本の家が私の居場所です。落し物をしても持ち主に物が戻って来る安全な日本が大好きです。

編集後記

今年は平成30年の年明けから寒い日が続いています。各地から雪の便りも聞こえてきます。確か昨年までは地球温暖化で暖冬だと皆さん憂いていませんでしたっけ。

冬は冬らしく寒い方が良くと思う反面、高齢の方が雪国の雪下ろしなどでご苦労をなさっているニュースを見るにつけ少子高齢化の影響を思います。そうかと言って具体策はわからないままですが。

たはら国際交流協会は今年も盛りだくさんのイベントを企画しています。是非ご参加ください。(M.S)

※Bridgeは、4月から「田原はなまる」に掲載します。

一般住宅からビルまでOK!!

KAWAJI GUMI

見積無料

総合建物解体工事

(株)河合組

愛知県田原市野田町弥次兵衛58
TEL.0531-25-0011

LIFE-UP

Hallo

Reform&Culture

株式会社 ハロ一

田原市田原町汐見34 TEL(0531)23-3100(代)